

野原町八幡宮の七十五膳神事用木椀の松江市指定文化財への指定について

令和5年2月7日に開催された令和4年度第2回松江市文化財保護審議会(会長 佐藤 信)において、以下の文化財を松江市指定文化財に指定することについて諮問したところ、指定すべきとの答申がありました。概要は記載のとおりです。

1. 種 別 有形民俗文化財
2. 名 称 野原町八幡宮の七十五膳神事用木椀
3. 附 天文十一年棟札、慶長十四年棟札
4. 員 数 58点、附 棟札2枚
5. 所有者 宗教法人 八幡宮
6. 所在地 松江市野原町 51 番地
7. 指定基準(令和4年3月31日 松江市告示第114号)
 - ア 次に掲げる有形の民俗文化財のうち、その形様、制作技法、用途等において松江市民の基盤的な生活文化の特色を示すもので典型的なもの
 - (カ) 信仰に用いられるもの
8. 指定理由 野原町八幡宮の七十五膳神事用木椀は、慶長13年(1608)の墨書があることから、少なくとも、慶長13年には八幡宮で七十五膳神事が行われていたことを知ることが出来る。400年以上前に寄進された木椀が、今日まで神事に用いられながら継承されてきたことは特筆すべきことといえる。また、この神事用木椀は、近世初頭の松江における民間の信仰実態を伝える民俗資料として価値が高く、これらの木椀と八幡宮の存在を証明する棟札2枚を指定し、将来にわたって保存することは、今後本市だけでなく周辺地域の「七十五膳神事」の実態を解明するうえで大変重要である。

9. 概 要

野原町八幡宮の七十五膳神事用木椀は、野原町の八幡宮の例祭(10月15日)の宵祭で行われる「七十五膳神事」で使用される。「七十五膳神事」では団子を盛り付けた木椀を神前に献供する。この木椀には、最も古いもので慶長13年(1608)の寄進者である「伊藤宇右衛門尉」の氏名などが書かれた墨書があり、これによって少なくとも慶長13年(1608)には、八幡宮で「七十五膳神事」が行われていたことを知ることが出来る。なお、寄進者である「伊藤宇右衛門尉」の氏名は、円成寺(松江市栄町)が所蔵する過去帳で、堀尾家家臣として確認できることや「堀尾期松江城下町絵図」(島根大学附属図書館蔵)でも、跡継の屋敷地が確認できるなど、その存在は証明できる。

また、八幡宮には多くの棟札が残されているが、それらの棟札の中で、最も古いものは天文11年(1542)の棟札で、神事を伝える八幡宮の成立が中世まで遡ることや、次に古い棟札

が慶長十四年(1609)であり、これによって八幡宮が慶長期にも継承していることを確認できる。更に、松江城下町遺跡から出土した慶長期の漆椀と比較すると、八幡宮の慶長13年の木椀は、法量や形態がそれらと非常に近く、慶長期とすることに全く矛盾がないことも判明している。

これらのことから、木椀58点と八幡宮の存在を証明する棟札2枚を指定し保存することによって、今後本市だけでなく周辺地域の「七十五膳神事」の実態を解明する貴重な民俗資料とするものである。

※山岳宗教研究の立場からは、「七十五は山の神の眷属の数」であり、祭祀にあたりその眷属神に御膳を献じるのが「七十五膳」と常識的に理解されているという。

指定木椀一覧表

表中□は判読不明文字

	寄進年	西暦	寄進者と思われる墨書	椀数	備考
1	慶長13年11月14日	1608	伊藤宇右衛門尉	16	本人の他に妻と4人の子と思われる干支の墨書あり
2	享和元年9月15日	1801	松本彦重	5	4は同一人物か
3	文化13年9月	1816	源蔵	19	5は同一人物か
4	年欠		松本彦十	5	2は同一人物か
5	年欠		加村源蔵	10	3は同一人物か
6	年欠		四郎三郎	2	6,7は同一人物か
7	年欠		四郎□郎	1	6,7は同一人物か
計				58	

附 棟札一覧

表中□は判読不明文字

	年代	表	裏	総高(cm)	上幅(cm)	下幅(cm)	頭部の形状	備考
1	天文11(1542)	奉造立八幡宮御本社并拝殿各成就大施主地頭本願并地下中敬白 常盤賢磐 夜守盡護矣 于時天文十一年 壬寅三月吉日良辰	地下ヨリ入目 銀子七拾目 米貳石三斗五升 □八幡大菩薩 造立寄進 一米壹斗三升五合 別所村 「宝曆十四甲申歳凡及二百三拾歳」 「一」	88.6	12.0	10.7	平	江戸時代の写しカ
2	慶長14(1609)	□□□□ (梵)(梵)(梵)(梵)(梵)(梵)(梵)(梵) 奉造立八幡大菩薩守護所 一切日皆善 一切宿皆□(賢カ) 諸佛皆□□ 羅漢皆行滿 以斯成實言願我成吉祥 于時慶長十四年己酉歳 霜月吉日欽言 本願半家長門□□松浦三郎左衛門尉 □□ 時神主赤木宮□ 大工山本源左衛門尉 敬白	(梵)(梵)(梵)雲州嶋根野原村 「二」	98.3	13.7	12.2	尖頭	釘穴2カ所

慶長 13 年木椀の墨書内容

つちのへ	伊藤宇右衛門尉
たつのとし	同
きへの	きのへ
いぬのとし	いぬのとし
きのとの	きのとの
ひつしのとし	ひつしのとし
つちのへ	つちのへ
いぬのとし	いぬのとし
みつのとの	みつのとの
卯のとし	卯のとし
ひのとの	ひのとの
ひつしのとし	ひつしのとし
慶長十三年	
十一月	
十四日	



野原町八幡宮の七十五膳神事用木椀 慶長 13 年の椀のうち 13 点



野原町八幡宮の七十五膳神事用木椀 慶長 13 年の椀



野原町八幡宮



宵祭で献供される前の木椀と団子



神前に供えられた木椀と団子



指定木椀全景